



令和5年度 学校便り

おかぜん

天城町立岡前小学校
第9号 令和6年1月31日発行

【キャッチフレーズ】
ユイの心もち 未来に向かって
輝け 岡小の子

～危機意識を高める～

校長 猪俣 雅士

今年も新年早々、能登半島での地震、航空機の衝突事故と立て続けに予期せぬ災害・事故が発生し、日本中が驚きと悲しみに包まれました。3学期の始業式では、全児童・職員で黙禱を行い、想いを捧げました。尊い命を失われた方へ深い哀悼の意を表するとともに、今なお安否不明の方や不自由な生活を強いられている方へ、一日も早い救助と災害復旧、そして当たり前の日常に近づけるよう祈るばかりです。

さて、災害や事故というのは、いつ、いかなる時に発生するか予想しづらいものですが、いつ、いかなる時であっても発生するリスクがあるものです。ですから、学校でも様々なリスクを想定し、日頃の安全指導は勿論、避難訓練（地震・火災・津波等）や不審者対応訓練（子供110番の家への駆け込み訓練も含む）、保護者への引渡し訓練等も、より実効性が伴うよう、毎年改善を加えながら実施しております。引渡し訓練をやっていたからこそ、実際の台風の際にスムーズな保護者への引渡しのできた事例もありました。

2022年1月、奄美群島に津波警報が出されたことは記憶に新しいと思います。当時私は奄美市に住んでいたのですが、夜中に大きなサイレンが鳴り響き、周りの住民がごんごん車を出ていくのを見て、慌てて避難したことを思い出します。なるべく高台へと車を走らせたのですが、考えることは皆同じで、大渋滞にはまり、車は全く進みませんでした。ある程度の高台まで移動するのにかなりの時間を要したため、もし大きな津波が到達していたら波に飲み込まれていたかもしれません。これは、クライスマネジメントができていなかったことが原因で、今考えれば、3つの避難経路があり、実際他の避難経路で移動した人の中には、渋滞にはまらずスムーズに避難できた例もありました。

今回の航空機衝突事故について考えてみますと、原因究明のために様々な検証が行われておりますが、やはり特筆すべきは、300人を越える乗客・乗員が全員助かったという事実です。機内は煙に包まれ、窓の外では炎が立ち上る中、パニック状態の乗客を落ち着かせ、安全に外へ誘導できたという事実は、平日頃のクライスマネジメントが徹底されていると共に、一人一人が高い職責感をもち、意思の統一が図られていたからではないでしょうか。

残念ながら、海上保安庁の飛行機の乗組員は複数亡くなられております。心よりご冥福をお祈りすると共に、自分たちの職場においても、起こりうる様々なリスクを想定し、危機意識を高め、安全管理を徹底していかなければならないと、改めて考えさせられました。何事も「対岸の火事」ではなく、「自分事」として捉えることを、今後とも徹底していきたいです。

【リスクマネジメント】

組織を取り巻くリスクを網羅的に把握し、重要と思われるリスクを抽出した上で、対応策を講じる事前策

【クライスマネジメント】

問題が発生した時の対応、発生後の対応をあらかじめ決めておく事後策

2月の主な行事予定

- 【生活目標】 学習用具を大切に使う
- 【保健目標】 心の健康を守ろう
- 【給食目標】 食べ物と健康について考えよう
- 1日（木） 北中学校一日体験入学・入学説明会
移動図書
- 8日（木） なわとび大会【低②，中③，高④】
- 9日（金） 家庭学習・メディアコントロール強調週間（～15日）
- 10日（土） 天城岳ハイキング（北部地区推進協議会）【8:45～】
- 13日（火） PTA役員会【19:00～】
- 14日（水） 新入生体験入学・入学説明会
- 22日（木） 6年生を送る会 お別れ遠足
- 29日（木） 学習参観【低②，中③，高④】
家庭教育学級閉級式
PTA専門部会 学級PTA

3月の主な行事予定

- 【生活目標】 すみずみまでそうじをしよう
- 【保健目標】 一年間の健康生活の反省をしよう
- 【給食目標】 一年間の給食をふりかえろう
- 4日（月） 第3回学校評議員会【10:20～】
- 7日（木） 移動図書
PTA役員会【19:00～】※予定
- 14日（木） 卒業式予行 ※1～4年生は5校時授業
- 21日（木） 離任式【予定】 卒業式準備
- 22日（金） 第127回卒業式
- 25日（月） 修了式 大掃除 ※給食なし
三校PTA合同送別セレモニー【18:00～岡前小体育館】※予定



※ 学校運営上の都合により、
行事予定が今後変更することがあります。

3学期始業式

1月9日(火)から3学期が始まりました。

始業式の「児童代表のこたば」では、4年生の〇〇〇〇さんと2年生の〇〇〇〇さんが、3学期の目標や頑張りたいこと等について堂々と発表し、児童全員が真剣な表情で聞いていました。

今年度のまとめとなる3学期。一年で最も短い学期でもあります。残りわずかとなった一日一日を大切に、友達や先生と価値ある体験・経験を積み重ね、一つでも多くの思い出をつかってほしいと思います。

今学期も、児童の健やかな成長のために職員一同力を合わせて取り組んでまいりますので、本校の教育活動へのご理解・ご協力を引き続きお願いいたします。



WBC金メダル鑑賞会

1月12日(金)に、WBC(ワールドベースボールクラシック)の金メダル鑑賞会が行われました。

3月に開催されるWBCの代表にも選出された近藤健介選手(福岡ソフトバンクホークス所属)のお父様である近藤義男さんが昨年度に引き続き来校し、近藤選手がWBCで獲得した金メダルを披露してくださいました。

最初に、「夢の実現に向けて」というテーマによる講話がありました。近藤選手の幼少期の様子について、外遊びが好きで友達がたくさんいたことや、様々なことに興味をもって積極的だったことなどを紹介してくださいました。また、「夢はみんなの足元にあるもの。だから、川を下っていくようなイメージで努力を続けてほしい。」と夢に近づくための秘訣も語ってくださいました。

講話の後は、全校児童一人一人が金メダルに触れさせていただきました。昨年度触った東京オリンピックの金メダル同様に、世界一の重さに感動している児童の様子が見られました。金メダルの向こうに児童が見た夢や希望を応援できるよう、学校も全力で日々の教育活動に引き続き取り組んでいきたいと思っています。



校内書き初め大会

1月11日(木)に、校内書き初め大会を実施しました。今年度は、全学年が硬筆の課題に取り組みました。

いつもは児童の声が響く活気ある教室が、物音を立てるのを恐縮してしまうくらい静まりかえり、手本と真剣に向き合っている雰囲気伝わってきました。また、書写の時間に学習してきた成果を表現しようと細部まで丁寧に書く姿があり、書き終えた後は満足感いっぱいの表情が見られました。

今回の書き初め大会の作品は廊下等に掲示しています。児童の作品をご覧になった来客の方々からは、「きれいな字を書ける子が多いですね。」と称賛いただくことがあります。

今後、正しく文字を書く意識を日々積み重ねるとともに、児童が書いた字のごとく伸びやかにたくましく育つことを願うばかりです。



大谷翔平選手からのグローブが届きました!

メジャーリーガーの大谷翔平選手から全国の小学校にグローブがプレゼントされましたが、本校にも3つのグローブが届きました。「このグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます」「野球しようぜ 大谷翔平」等の大谷選手の熱いメッセージもグローブと共に箱に同封されていました。

始業式で体育委員会の児童がグローブを紹介し、使い方について児童全員からの意見を募ることを呼び掛けました。学級や代表委員会での話し合いを経て、大谷選手の思いを受け継いで大切に使うための徹底事項を児童が決めました。昼休みになると、グローブを手に校庭へ飛び出していく児童の姿が見られます。大谷選手、素敵なお土産をありがとうございました。



受賞おめでとう! ~岡小っ子の活躍~

【ユイ結いレターコンクール】

校長会長賞	6年	〇〇〇〇
町の郵便局長賞	6年	〇〇〇〇
ライオンクラブ会長賞	5年	〇〇〇〇
推進協議会長賞	1年	〇〇〇〇



【令和5年度ハブ咬傷予防対策ポスターコンクール】

入選	6年	〇〇〇〇
----	----	------

食に関する指導・交流給食(給食週間より)

1月22日(月)から26日(金)まで、本校では「給食週間」として行いました。その一環として、町学校給食センターの三橋璃子栄養教諭をお招きし、1・3・5年生を対象にした「食に関する指導」を行いました。1年生は「食事のマナーや食べ物に含まれる栄養素」、3年生は「食べ物ののはたらきやバランスのよい食事」、5年生は「健康的な食生活や一食分の献立作成」をテーマに学び、健全な食生活や食の適切な選択について知識を深めることができました。

また、1月25日(木)には交流給食も行いました。全学年が他学年の児童と一緒に食事ができるように年3回に分けて組合せをつくり、約半数の児童を入れ替えて食事をしました。始めは互いに遠慮して黙々と食事をしている学級もありましたが、少しずつ会話も盛り上がりを見せ、楽しく食事を進めていました。

望ましい食習慣を身に付け、生涯にわたって健康な生活を送ることができるよう、学校では給食や学活等を通して食に関する指導を今後も行ってまいります。ご家庭でも、よりよい食生活の定着に向けた実践をお願いします。



望ましい食習慣を身に付け、生涯にわたって健康な生活を送ることができるよう、学校では給食や学活等を通して食に関する指導を今後も行ってまいります。ご家庭でも、よりよい食生活の定着に向けた実践をお願いします。

〇〇〇〇さん(1年)の詩が、南日本新聞(令和6年1月7日付)の「子供のうた」欄に掲載されました!

おすもうさんがきた
わたしの学校に 本ものの
おすもうさんがやってきた
おすもうさんがぶんなげられた
どしんと 体いっかんがゆれた
おすもうさん いたそう
でも 体がやわらかいから
なげられてもしらんかお
すこい つよい かっこいい
わたしだったら
おおなきてるだろうな
(天城岡前小1年)

初めて本物の力士を見た興奮や驚きが臨場感のある言葉で上手に表現することができています!